

第1回 今治市総合計画審議会 会議録

1 日 時 令和2年2月19日(水) 午前10時00分～午前12時00分

2 会 場 今治市役所 第2別館11階 特別会議室1・2号

3 内 容

1 開 会

2 市長あいさつ

3 委員のご紹介

4 会長・副会長の選出

5 会長・副会長あいさつ

6 議 事

(1) 第2次今治市総合計画後期基本計画の策定について

(2) 第2次今治市総合計画後期基本計画策定に係るアンケート結果について

(3) 第2期今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について

(4) 今後の開催予定について

(5) 質疑

7 閉 会

4 出席者

<委 員>

相原 正樹	委員	岡村 泰彦	委員	望田 友加	委員
吉武美由紀	委員	赤尾 宣宏	委員	宇高 秀志	委員
門田 尚樹	委員	門田 正孝	委員	瀬野 哲郎	委員
丹下 隆志	委員	村上 伸幸	委員	山本 一馬	委員
山本 優子	委員	吉田 和史	委員	小島 敬子	委員
加地 真弥	委員				

<事務局>

今治市長 菅 良二

越智企画財政部長

(企画課) 秋山課長 越智課長補佐 大政係長 川崎主査
高橋技師 多田

(委託業者) デロイトトーマツコンサルティング合同会社
朝日氏 田中氏

第1回今治市総合計画審議会 会議録

企 画 課 長

定刻が参りましたので、ただいまより今治市総合計画審議会を開催いたします。私、事務局を務めさせていただきます企画財政部企画課長の秋山と申します。会長が選出されるまでの間、司会を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

会議の進行に入らせていただく前に、本日の会議の公開等につきましてご案内させていただきます。今治市附属機関等の会議の公開及び傍聴に関する要綱、及び、今治市附属機関等の会議録の作成及び公開に関する要綱に基づき、会議と議事録の公開を行うこととしておりますので、あらかじめご承知おきください。

当審議会は、条例に位置づけられた附属機関であり、市長の求めに応じて、総合計画に関する重要事項についての調査・審議等を行うため、複数の委員をもって構成する合議制の機関となっており、この度、市長から諮問させていただくものでございます。

それでは、開会にあたりまして、菅市長より諮問を兼ねてごあいさつを申し上げます。

市 長

みなさん、おはようございます。

今日は、令和3年度から折り返しとなる第2次今治市総合計画後期基本計画策定へのご協力を賜りましたこと、厚くお礼を申し上げます。

また、新しい顔ぶれの方々にもお越しをいただき心強く思っております。

ここからよく見えます岡山理科大学獣医学部ですが、開学まで随分と苦労もしまして、みなさんにもご心配をかけましたけれども、おかげさまであのように、学校の姿だけでなく、学生も期待通り、1期生、2期生と頑張ってくれています。それから、教授の皆様を始めとするスタッフの方々も、本当に全力で取り組んでくださっています。

つい先日、伯方島で、喜多浦八幡神社の弓放し（弓祈禱）という伝統ある行事がありました。その伝統ある行事に、なんと今治明德短期大学と岡山理科大学獣医学部がコラボして、鳥獣対策でイノシシといった問題に取り組んで、イノシシ料理がふるまわれました。

今治明德短期大学の料理の技術で、本当に美味しくいただきました。そして、何より良かったのは、伯方の地域のみなさんが、若者達が伯方島を訪れ、地域の皆さんと一緒に交流していること、弓祈禱が盛大な会になったことに心から喜んでおられたことです。

今治と松山の一番大きな違いはどこにあるかといえば、やはり街を歩く若者達ですが、今、今治も、若者達が駅周辺でバスを待つ姿や、ゆめこい坂を自転車をこいで通学しているといった状況になってきています。ま

た、先日、今治明德短期大学の学園祭にも行かせてもらいましたが、本当に新たな良い意味の刺激を与えあって頑張ってくれているなど強く感じています。

それからもう1つは、来島海峡大橋です。これを活かさなければということで、愛媛県の中村知事にお考えいただいた中で、やっぱり歩いて、自転車で渡れる橋は他にはないのだから、これを活かさなくてはと、歩いては既にスリーデーマーチ等々で今治は早くから手掛けておりました。自転車、サイクリングに着目して、8年前になりますが、広島県知事と私ども首長と、ジャイアントという自転車メーカーとしては世界第1位の会社の劉会長を交えて、自転車で一緒に尾道から走りました。そこで劉会長から景観の素晴らしさは、サイクリングルートとしては最高ですねという言葉いただきました。そして、年を経て、昨年11月にはナショナルサイクルルートに指定されました。つくば霞ヶ浦りんりんロード、ピワイチ、しまなみ海道サイクリングロードの3本になるのですが、霞ヶ浦もピワイチも一緒に、謙虚さもあったんでしょうが、しまなみ海道サイクリングロードにはかないませんと言っていたおりました。本当に自信をもって、これからは自転車文化といったものを1つの柱に、大事にしていきたい、いかなければという思いもしております。

それと、今治新都市です。第1地区の方に、新たな大きな建物があります。あれは何ですかとよく言われますが、日本食研さんのシェーンブルン宮殿工場という立派な工場がいよいよできつつあります。新都市の様子も変わってきております。

我が今治市は何と言っても海事産業、今治タオルも元気ですが、太陽石油さんも頑張っておられます。太陽石油さんだけでなく、地下備蓄ですから見えませんが、波方にも波方ターミナルさんがありますが、こういったエネルギー産業と、もう1つは、規模としては小さいけれど、伯方塩業さんの伯方の塩というのはブランドになっています。

委員としても来られておりますが、さいさいきてやを中心としてJAさんも頑張っておられます。

今治市が、なぜ県下でふるさと納税が一番多いのかといえば、やはり、タオルと柑橘があることです。返礼品をお礼にお渡しすることは、非常に意味があることで、ふるさとの自信が持てる贈り物として、タオルや柑橘が選ばれている、ふるさと納税額が県下で一番多い形になっているのは、そういったことが大きな要因でもあると思っておりますし、これからは頑張してほしいという願いがございます。

今治は気候も温暖で、もちろん一昨年の豪雨災害で、島しょ部で2名の犠牲が出てしまったということもございましたが、比較的自然災害に強いまちです。そして、人情豊かなまちです。こういったことは、これからは

大事にしていかなければならないし、育むということも、教育という分野でも考えていかなければならないと思います。

もう1つ、今日は、医師会からも委員としてお越しいただいております。人の命を守る立場として、今治市では、戦後一貫して開業医の先生方が頑張っていたいただきました。おかげで、今や県立今治病院、済生会、それから医師会と3本柱でやっていただいておりますけれども、非常に高度化された医療の中で、救急医療の問題を真剣に考えていただいております。みなさんの命を守るということは、非常に重要です。

色々な面で、どうぞみなさんあらゆる分野から、遠慮ない率直な意見交換をしていただきながら、ご議論いただいて1つの方向性を見出していただければありがたいと思います。それが、今回、みなさまにお越しいただいた一番大きな願いでもあります。若手の委員さんもいらっしゃいます。色々議論を交わしていただきながら、方向性をまとめていただきたいと思います。

事務局もみなさんの意見をしっかりまとめて、今後の今治市づくりに活かしていきたいという思いを持っておりますし、そうでなければいけないと思っております。

県外出身の公募委員さんもおられます。県外の目で、色々な観点からご覧いただければありがたいと思います。

そういった様々な分野の方々にお越しいただいて、今日から後期基本計画策定に向けてのご審議を賜りますようお願い申し上げます。

あれこれ申し上げましたけれども、思いはやっぱり、今の中学生・高校生が一度は市外に出るのはやむを得ないけれども、改めてまた、ふるさとに思いを寄せていただく、そういうまちにしたいと願っています。

なぜなら、毎年今治市の人口が2,000人近く減って、高校3年生は出て行くという人口減少の状況です。これを何とかして取り戻したいわけがあります。簡単ではありませんが、そういった方向に全力を尽くしていきたいという思いがあります。

どうぞ、これからもよろしく願い申し上げ、冒頭のご挨拶とさせていただきます。本日は、こうしてご参加をいただき、ご審議いただきますことに、心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

企 画 課 長

(次第3「委員のご紹介」について、出席委員のご紹介を行う。その後、事務局の紹介を行う。)

企 画 財 政 部 長

次第4「会長・副会長の選出」につきましては、私、企画財政部長の越智が進行させていただきます。

当審議会の会長及び副会長につきましては、今治市総合計画審議会規則第

	<p>4条第2項によりまして、「会長及び副会長は委員の互選により定める。」と規定されております。いかが取り計らえばよろしいでしょうか、ご意見をお願いいたします。</p>
A 委 員	<p>(A委員より、会長候補に瀬野委員を、副会長候補に宇高委員を推薦する旨発言がある。)</p>
企 画 財 政 部 長	<p>ただいま、A委員より、会長に瀬野委員を、副会長に宇高委員をとのご推薦をいただきましたけれども、皆さまいかがでしょうか。よろしければ拍手をお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">(拍手)</p>
企 画 財 政 部 長	<p>ありがとうございます。皆様からのご賛同が得られましたので、会長を瀬野委員に、副会長を宇高委員をお願いいたします。</p> <p>それでは瀬野会長、宇高副会長、恐縮でございますけれども会長席、副会長席へご移動いただきたいと思っております。</p> <p>大変恐れ入りますが、瀬野会長、宇高副会長からご就任のご挨拶をいただきたいと存じます。</p>
瀬 野 会 長	<p>ただいま、皆様からご推挙いただきまして、当会の会長をさせていただきます。大変光栄でありがたく思います。重責でございますけれども使命を全うできるよう努めてまいりますのでどうぞよろしくをお願いいたします。</p> <p>今現在皆様もすでにご存じ、一番問題になっております、日本の最大の国難と言われております人口減少問題ですけれども、これは特に地方都市にとっては非常に重要な問題で、我がまちが潰れるというふうな状況もたくさん出てきております。今治市においても今お話がありましたように、令和元年度、2,000人の減少の大台に乗るということになりました。</p> <p>今後は、これからも住んでいたいまち、そして、住んで良かったと思えるまち、そういうものに向かってやっていかなければならないと思っております。</p> <p>その中でこの総合計画でございますけれども、少し読ませていただきましたけれども、よくできておりまして、蟻のいる隙間もないという位、ビシッとできております。基本構想から始まって、基本計画、そして実施計画、戦略というふうな形になって、少し複雑で、市民の方が読むには、構成を考えるのにちょっと難しいところもありますけれども、非常に細かくできています。これが、具体的に、実際に実現ができていくように、各担当課の人が、具体的な対応ができるように、実現ができるように、努力をしていただけた</p>

	<p>らと思います。</p> <p>それに向かって、あと今日も入れまして3回ということでございますが、皆様のご協力を得て、良いものができるように、使命を全うしたらと思いますので、どうぞよろしく願いをいたします。以上です。</p>
宇高副会長	<p>この度、こういった大役をいただきまして、非常に光栄に存じますし、また身が引き締まる思いでございます。</p> <p>先程からありますように、今治市の人口減少は非常に厳しい状況ということ、改めて、先程の会、また先程市長からの中にも、改めて思い知らされた状況でございます。</p> <p>農業分野も同様でございます、非常に近年、農家の減少が著しいと。その中で、今後、農業を担っていく担い手作り。これを大きな喫緊の課題として、JAとしても取り組んでおります。</p> <p>そうした中で、そのためにはやはり、ここで仕事をして住みたい、あるいは、こちらに来たいと思っただけの魅力あるまちづくり、これがまず前提であると考えています。そういったことも含めて、みなさんとしっかり審議、また協議を進めていきたいと思っております。よろしく申し上げます。</p> <p>また微力でありますけれども、瀬野会長さんをしっかりサポートさせていただいて会の運営を進めて参りたいと思っておりますので、皆様方につきましては、ご理解、ご協力お願いいたします。よろしく願いいたします。</p>
企画財政部長	<p>ありがとうございました。それでは、この後の進行につきましては、瀬野会長にお願いしたいと思います。</p> <p>なお、ここで市長は他の公務のため退席させていただきます。</p>
市長	<p>みなさん今日は愛媛県と市町の連携協議というものがあまして、合併して今愛媛県は70あった市町村が20に、市が11、町が9つ、20になりました。</p> <p>そういった意味がある、非常に話しやすく、県との関係プレーというのができるようになってきておりますが、その会がございまして、ここで退席させていただきますが、どうぞこれからもお力添えを賜りますようお願い申し上げます。ありがとうございました。</p>
企画財政部長	<p>瀬野会長、よろしく願いいたします。</p>
瀬野会長	<p>それでは、これより議事に入りたいと思っております。本日の案件は、お手元に配付しております会次第のとおり、</p> <p>(1) 第2次今治市総合計画後期基本計画の策定について</p>

	<p>(2) 第2次今治市総合計画後期基本計画策定に係るアンケート結果について</p> <p>(3) 第2期今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について</p> <p>(4) 今後の開催予定について</p> <p>(5) 質疑</p> <p>の5件となっております。</p> <p>議事の進め方でございますが、議事(1)から(4)までは、事務局の説明により進めさせていただきます。</p> <p>議事的内容的には少し、説明も長くなるかもしれませんがよろしくお願いたします。途中、議事(2)の「アンケート結果」の説明後に、一度、これまでの説明内容についての質疑を受けたいと思いますので、ご質問がある場合はこの時に言っていただけたらと思います。</p> <p>それから、議事(3)、(4)と説明を再開しまして、議事(4)の「今後の開催予定」の説明終了後に、議事(5)に入りますが、ここで、皆様お1人お1人から、お考え、ご意見、皆様のお立場からのご発言をお願いしたいと思いますので、あらかじめお願いをいたします。</p>
瀬野会長	<p>それでは、「議事(1)第2次今治市総合計画後期基本計画の策定について」と、「議事(2)第2次今治市総合計画後期基本計画策定に係るアンケート結果について」まで、事務局の方から説明を求めます。</p>
企画課長	<p>(説明前に配布資料の確認を行う。)</p> <p>(議事(1)「第2次今治市総合計画後期基本計画の策定について」事務局より説明を行う。)</p> <p>(議事(2)「第2次今治市総合計画後期基本計画策定に係るアンケート結果について」事務局より説明を行う。)</p>
瀬野会長	<p>ありがとうございました。以上で議事(1)と(2)の説明は終わりました。これまでの説明につきまして、何か質問等はございませんでしょうか。</p> <p>特にアンケートなども、しっかり最近の結果が出ていますので、これについても、皆様のご意見を自由に堅苦しくなく、好きなように、何でもお願いたします。</p>
B委員	<p>会長のごあいさつにあったように、本当に計画は蟻の入る隙間もないくらいできているんですけども、具体的な所をどこに収めていくのかなと感じました。</p> <p>市民アンケートの結果もすごく大切だと思っていて、バリクリーンの所で評価が上がったというように、具体的に市民生活に見えるもので市民の方が</p>

	<p>分かれば本当にこんなふうに反映するのだなと思ったので、下半期の総合計画については、ビジョンに掲げているところを具体的にしていくところを大事にしてほしいなと思いました。</p> <p>総合戦略のいくつかある基本目標の中で、産業のこととか観光のこととかあって真ん中に子育てのこととかあるんですけども、例えば学校教育の中に産業のこととか観光振興のことを具体的に感じられるチャンスがまだ少ないと思っているんです。その辺の具体的なことがあるといいなとおもいました。例えば、松山の学生さんの方がしまなみ海道にサイクリングに来ている機会は多いし、地域の小中学生の教育の中に今でも海事とか農業の分野の見学とかはあるんでしょうけれども、まだまだちょっと根付いていないのかなというのを感じているのがまずは1回目の感想としてはあります。</p>
瀬野会長	<p>ありがとうございました。皆様のご意見については最後にそれぞれご発言いただけたらと思いますけれども、今ここでこれについての質問をしておきたいというのがあったら言っていただけたらと思います。</p>
企画課長	<p>先程B委員さんからご意見ございました件について、資料6の23ページを開いていただけたらと思います。B委員がおっしゃったように、我々も教育の現場に地域の産業というものがどう伝わっているのかということで、郷土愛を育む教育というところは、私どもとしてもここはしっかり取り組んでいかなければいけないだろうなというのをすごく実感として考えています。そういった意味で、このあたりは全部新規事業という形で入れさせていただいております。特に1番目のキャリア教育、郷土愛を醸成する教育の創設というところについては、当然ながら行政の方で取り組むわけですが、ぜひ産業界も含めて、様々の地域の皆さんからの参画をいただくことも必要だと思っております。そこをどういう風に工夫していくかという課題を持って取り組んでいきたいと思っています。事業を具体化する上でもぜひご協力いただきたいと思っている課題ですので、引き続き今後のご議論の中でアドバイスいただけたらと思います。以上でございます。</p>
瀬野会長	<p>ありがとうございました。もう1人、C委員さん、外から見られた感覚ということで、どうですか。</p>
C委員	<p>私は県外の出身でして地域も気候も違うところからやってまいりまして、今日も、景色がいいのですごく感動してこっちへきたことを思い出しますが、そういった所でアンケートを見ていると、高校生の意見欄でも、今治市は好きだっていうのが大半っていうところが見えてきましたので、やっぱ</p>

	<p>りこれから県外に出て行くかもしれない彼らがここに戻ってきて今治市のために何らか役に立ちたいなとそう思ってもらえるような、うまく伝えられないですけども、そういった機会が増えれば、後は仲間が増えれば戻ってきたいのかなというふうな気持ちが生まれるのではないかと、アンケートを拝見しながら思いました。まとめた意見はまた最後の方にできればと思います。</p>
企 画 課 長	<p>ありがとうございます。高校生アンケートは、また後ほど報告書全体で見ておいていただければと思いますが、資料4-1の3ページを見ていただけたらと思います。左側で総合評価点は何点ですかという問いをさせてもらっています。64~65点で、実はこれは前回とほぼ一緒の点数です。それ以上に私どもとして注目している問いとして、右側の今治市が好きかという問いがございます。実はこの質問は、アンケートの一番始めと一番最後に、同じ質問をあえてしています。アンケートを通じて今治市ってどういうところなのか、もう1回考えて欲しいという思いがあって、あえて同じ質問をしております。結果、初回質問と再質問を比べて、好きという回答が増えている所、また、どちらとも言えないという回答が減ったという所は、今、C委員の方からご発言いただいたように、こういう気持ちの所をしっかりと大切にしていかなければならない所であると認識しています。残念ながら、嫌いの部分も若干ですが増えていますので、ここは我々の努力不足と捉えている所ですけども、こういう傾向も意識をしていきたいと思っています。以上です。</p>
瀬 野 会 長	<p>ありがとうございます。他にありませんか。</p>
D 委 員	<p>先程の事務局のご説明の所で確認ですが、高校生アンケートの結果報告書の初回質問として1番目に今治市が好きかっていう質問があって、例えば30の質問があったとしたら30番目にもう1回聞いているということですよ。ということはその途中で各質問があって、高校生が各質問に答えていく中でやっぱり今治が好きだよってという割合が増えているということですよ。</p>
企 画 課 長	<p>そのとおりです。</p>
D 委 員	<p>わかりました。</p>
瀬 野 会 長	<p>ありがとうございました。他にございませんでしょうか。 では次へ進みたいと思います。それでは、次の議事(3)「第2期今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について」から議事(4)「今後の開催予定について」まで、事務局より説明を求めます。</p>

企 画 課 長	<p>(議事(3)「第2期今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について」事務局より説明を行う。)</p> <p>(議事(4)「今後の開催予定について」事務局より説明を行う。)</p>
瀬 野 会 長	<p>ありがとうございました。以上で議事(4)までの説明が終わりました。それでは、議事(5)「質疑」に入りたいと思います。</p> <p>この時間は、はじめにお話ししておりましたように、各委員のお立場からご発言をいただいたらと思っております。どうぞよろしく願いいたします。その中で、今事務局で説明した所の中で、わからない所があったらその中で言っただけでも結構だろうと思っておりますので、よろしく願いをいたします。</p>
E 委 員	<p>それでは、私の方から発言させていただきます。私は、今治市医師会に所属しております、医療・介護・福祉、あるいは保健という立場から、お話ができるかなと思っております。そういう立場から言いますと、やはり重要だと市民の人が見ていただいているものの中に、私もこれを見て、ここまでかと思ったのかと思ったんですけども、救急であったり、障がいであったり、子育てであったり。こういう風なところが非常に大事だと見られておる。</p> <p>私も常々思っておりますのは、観光を含む産業の充実がないと雇用というものには生まれません。また、これもどうしても外せないと思うのが教育です。小学校、中学校あるいは大学もそうですけれども、教育。これはどうしても人間の根本としては外せないと思っております。</p> <p>それにもう一つ加えていただきたいのは、これまでもそれほども出ていなかったんですが、医療・介護・福祉・学業を中心としたまちづくりというものも私としては何とか前へ全面的に押し出していきたいと思っております。</p> <p>これまで、立派な行政をされていると思います。後は、イベント的なことであったり、祭りのようなことも多いですが、今後はやはり持続をする、定住をする、そしてずっとつながっていくということが大事なことだと思います。今治にずっと住んでいたい、あるいは、今治に住んでいて良かったと思うような、そういう風なことをするために、持続するものが大切であると思っております。そのポイントになるのは、やはり女性がここに居たいと思っていることではないかなと思っております。医療界も県病院も保健所もそうですけれども、男性はほとんど松山に住んでいます。なぜかという、奥さんに松山に住みたいと怒られるからです。それは、松山と今治の力の差、あるいは文化など、色々なものがあるかなと思っておりますが、やはり女性が住んでいたいと思うまち。それが、定住する、長く住めるまちではないかなと思っております。そんな気がしております。</p>

	<p>私としては、医療・介護・福祉の充実したまちづくりというものを1つ前面に出していただけたらと思っております。ポイントは女性と子どもです。これは、どこが見てもみんなそうだと思いますけれども、そういうところで私はずっと見ております。そういう施策にも反映していただけたらなと思います。どうぞよろしく申し上げます。</p>
<p>F 委員</p>	<p>農業人口を増やしていくためには、新規就農者を増やさないといけないということで、色々施策を進めております。そういったことで、愛媛今治と言えば柑橘ということで、柑橘を主体とした新規就農の事業を3年位前から立ち上げてます。</p> <p>立ち上げて今どういう状況かという、当初は県外から移住して来られて、柑橘を始めるという形の方がいらしていたが、ここ1、2年はおばあさんおじさんがこちらの方で、その息子が県外出られていて、そのお孫さんが帰ってくるパターンが増えてきている。そういったところで、Uターン、Iターンの流れが変わってきたかなという状況が今見えてきていることをお伝えさせてもらいたいのと、その中で、やはり色々移住者へのサポート事業という形でメニューを作っていただけてますけども、いわゆる空き家の紹介であったりとか、全体的な支援、施策がありますが、やはり帰ってくる、あるいは来られた時に地域コミュニティとどう溶け込むかというところを施策としてしっかりやっていかないと、帰って来たはいいけど、自分たちでどうするのかということになります。周りを見ても、周りの人もどう近寄ったらいいかわからない、そういったところも非常にサポートが必要な部分かなと思います。実際そういった就農者と接しているとそういう風な部分があります。これも前回も同じ内容でお話させていただいたのですが、物だけでなく、もっと踏み込んで、システム。そういったものも構築する必要があるのかなと最近つくづく感じております。</p>
<p>D 委員</p>	<p>事前にいただいていた資料を見させていただいた中で、また今日の会のご説明を聞いた上での話をさせていただきます。</p> <p>総合戦略をこれから立てていく中で、小さい部分で言いますと、やっぱりこれまでのご意見にもありましたが、医療体制の整備、充実というものがあり、総合戦略の中にはスポーツのまちづくりがありましたけれども、その中で、専門分野になるかもしれないですが、スポーツ医療とかスポーツ障がいという部分にも注目していただけたらいいのかなと思います。なぜかという、個人の経験ですが、体を痛めてまして整体に行くと、平日の夜に行くと、割と高校生とか中学生とかがいっぱいきているんですね。結局、部活動で痛めたとか、オーバートレーニングでとかいうようなことを治療院の方がおっしゃってましたけれども、そういう風なことで、スポーツのまちづくりをす</p>

るのであれば、そういうそちらの方の医療の充実というところも少し視野に入れておかないといけないのかなと思いました。

あと2つのところは、私の知人と話していたりとか、私自身の実感のところがあるんですけど、アンケートでも非常に満足度が上がっていたごみの処理。これですが、私自身そうですが、町内で週に1回軟質プラスチックの回収をやってまして、遅まきながらこの1年くらい毎週毎週出しているんですけども、あれで実感したのが、黄色のごみ袋で出すごみが半分くらいに減るんですね。軟質プラスチックを週に1回出すだけで。そういう風なことでリサイクルされている話も聞きましたが、もっともっとそういう風なことで、軟質プラスチックのリサイクル。どこまでの詳しい方なのか知らないですが、集めているけれどもまだまだ今治は少ないと聞いたことがあります。そういうところをもっとPRしていくとみなさんのご協力が仰げるのかなとも思います。

観光の部分で言いますと、今治城には割とひっきりなしに色々なところから観光客が来ているようなんですけど、ある方がふと言っていました。私よりも年上の方で記憶がどうなのか分かりませんが、昔、堀の中でボートが漕げたよね、みたいな話になって、内側から見るのではなく外側のお堀の方から城を眺めてみるのもいいのではないかとおっしゃっていました。そういう観光の部分で、昔やっていたけど、今はできていないところをもう一度洗い直して、何か簡単にできることがあれば、始めて見るというのも良いのかなと思いました。

先程事務局からのご説明にもありましたけれども、今治を好きになってもらうために、学校教育の方にも色々力を入れていこう、今治の地元の情報を入れていこうとありましたけれども、私もまさにそう思っています。もっと学校の授業とか教材の中で、造船やタオルは全国で一番優秀だと思うんですけども、全国で1番になるためには、その前段階で、愛媛で1番に、四国で1番に、西日本で1番に、というような段階を踏んでいかないといけないわけですが、色々な分野において、全国1位のものもあるけれども、四国で1位、愛媛1位はこれですよというように、子ども達のわかる部分で構いませんから、そういうのを取り入れるとか、また、それだけでなく、1位でないものについても1位になるように底上げをしていくようなことを教材に入れたり授業で取り組むなどもしていければと思います。

また、例えばですけども、今治市のホームページにどこまで載せられるのかは分かりませんが、今治市はこんなまちですよ紹介の中に入れてあげると良いのではないかと思います。例えばですが、20~30代の方が今治に戻ってくるとか、移住・定住を考える中で、多分ホームページはよく見られると思うんですよ。その中に、今治市はこんなまちなんだ、こういうことが優れているならば、私はスキルなり知識なりが生かせるよねという判断材料

にならないかと思ったりしました。

もう1つは、今日の資料の中にも、スポーツのまちづくりで、試合の時に観光物産なんかのPRブース出そうかなというのが資料に出てましたけれども、その中で、市長の話にもありましたけれども、岡山理科大学獣医学部、今治明德短期大学さんの方で協力されていわゆるイノシシなんかの肉を明德短大の学部の方が調理してふるまうなんてとっても良い試みだと思えますので、そういうのも各種イベントでやっていただけたらなと思います。学校だけのPRにとどまらないもっと良い効果が生まれるのではないかと思います。

G 委 員

私は架橋前からこの今治市 50 何年間旅客船に携わってきたわけなんですが、架橋開通後、離島に置かれてるという言葉がとにかく高齢化過疎化ということが枕詞になっておるのが現実でございます。島の高齢化は、これからもどんどん進んでいこうと思えますし、今治市に合併されて、架橋による交通の便は良くなっただろうと思えますけれども、それから医療も救急であれば今治市にすぐに来ることができる。そういった面では便利になったんですが、生活面においては、非常に高齢化が進んでいます。やはり柑橘の生産が多いものですから、労働力不足、アルバイト不足というかそういう人達に依存せざるをえないにも関わらず、柑橘の生産、収穫ができないので、いわゆる品質のいいみかんがだんだん少なくなって、どちらかという陸地部にそれが取られている。これが離農していく大きな原因になっているようにございます。

このアンケート用紙の中で今治市の中で、中心商店街が非常に疲弊しておるとか、あるいは、その他のこと色々書かれているわけなんですけれども、やはり、しまなみのルートというのは我々の中では目玉にしていかなければいけないという風に思っております。駅前とか糸山に新しく設備ができるわけですが、遠方から来ていただけること非常にありがたいことだと思いますけれども、やはり地元の人たちがこのサイクリストが通っていただける島しょ部を通っていただけることに対して、以前はちょっと不満みたいなものがあつたようですが、やはり人が通って、景観を見て感激して帰って、それら色々みなさんに伝わっていくという非常に重要なことだと思います。やはり、人が人を呼ぶということの中に作っていったらと思っております。

あとは、造船、それからタオルが今治の産業になっておりますけれども、将来これでいいのかということを私は悩んでいる。というのは、高校は地元出ました。大学は都心の中央の方へ出ていきました。では、帰ってどこへ就職するのか。ということで、もう少し選択される企業ですか、ITであるとかそういうものが今治市に誘致していただけないか。先程もちよっとお伺いし

	<p>たんですが、以前我々はハリソン電機がありまして地元ではかなり優秀な企業であるし、期待された企業だったと思うんですけども、今みると従業員少なくなっているということで。やはりそういうのがなくなっていくのが非常に残念に思っております。</p> <p>このアンケート1つ1つ見ていると、なるほどなとよくわかるので、このデータの良いところは取り入れる。悪いところはこれから改善していくことが大切ではないかと思えます。以上です。</p>
<p>H 委員</p>	<p>専門は観光なので、観光という視点から少し述べさせていただきます。</p> <p>観光というと文化とか産業とか生活というものにそれをつなげるものの1つが観光であるかなと考えていまして、観光というのは地域においては、とても重要にされているところでもあります。医療とか介護、福祉というようなところの充実を図るためには、観光によって財源を確保したり、生きがいというような観光に関わることで生きがい、交流を持って、生活をしていくということで観光というのは重要になってきていて、福祉の分野でも観光というところで研究されているというところが今なっているところでもあります。</p> <p>アンケートで教育というところが先程から出ていますが、その中でも、小学校における郷土教育の醸成がとても大事な部分だと思っています。</p> <p>4、5年前、滋賀県近江八幡で調査のため、小学校に1年間入らせていただきました。総合学習の時間とかで地域のことについて学ぶというのがあって、その中で観光とかまち、文化というようなところをしっかりと知ることによって、まちを知ることによってまちを好きになって、大人になってから、1回離れたとしても、地域に戻ってくるというのが増えているところがあります。小学校でいかに郷土教育というところを重点的にやるかで、1回は高校卒業で出て、大学は他へ行っても、30～40代になって戻ってくるケースが増えているところもありますので、小学校の教育というところに重点をおいて、また郷土愛の醸成というようなところをしていただけるとまた戻ってくる確率も高くなると思います。</p> <p>また、市民アンケートの方で、課題というところも注目されるべきところではありますけれども、満足というところで、しまなみ海道であるとか景観といった点も満足度高いというところにも出ていますので、そういったまちのいいところ、自慢できるところ、誇りになる所を一層高めて観光につなげていくこと、地域が誇りになるとことさらに磨きかけてどういう風につなげていくかというところを施策の中で反映させて、より充実を図っていくと良いものになるのではないかという風に考えます。</p>
<p>B 委員</p>	<p>みなさん色々ご意見ありましたが、人口減少は本当に厳しいなと思いまし</p>

た。でも、ここ5年間で伸びているところも数値で見るとありましたので、伸びているところをさらに伸ばすように今後はしてほしいなと思いました。

例えば、外国人の方のレンタサイクルの伸び数は7.7倍になっています。そういう伸びているところを重点的に、ということをしごく感じましたので、そこに対して施策を展開してほしいと思いました。それと、今日のアンケート結果の説明で面白かったのは、最初に今治市が好きか聞いて、アンケートをして、最後に好きが伸びているのは、やはり知ったらわかるということなので、事務局とかみなさんは大変かも分からないですが、F委員がコミュニティが大切とおっしゃったこととも関係しますが、もう少し住民説明会ではないが、こういった内容を具体的に聞くのは、私たち委員はラッキーな立場なんですけれども、こういうことに興味を持っているような方がお話を聞く機会というのが、アンケートだけでなく、設けられれば良いのではないかと思います。しごく、内容がたくさんあるので、市民の方には理解しにくいし、そこが具体的に知れるチャンスがあればいいのかなと思いました。

もう1点、今治が全国で1位の所もちろん大切なんですけれども、逆に言うと西条や新居浜に負けている所、松山に負けている所がしごく気になっています。なぜかという、西条などへの転出がしごく多い。家が建てやすいんですよね。私達みたいな世代で、結婚前になると、多分家を建てるから流出するんです。多分、規制の問題だと思うんですけれども、住居が建てにくい環境があるっていうのはもう見えていると思います。その辺をしっかりとしてほしいのと、子育てとかの環境に関しても、負けているポイントがあって、隣町に負けているということは市民は分かりやすいのではないかなと思いました。この間、スポーツのこともおっしゃいましたが、スポーツテストの点数が今治市は低いんです。学校教育の中で、スポーツで体壊している子もいるかもしれませんが、基礎体力をつけれてないのも学校教育の中にあるのかなと思います。ですので、市長さんが言われたふるさと納税が県内1位のトップです。でも県内でワーストというのも残念ながら多いので、そこは具体的に子育て環境の改善とか教育の改善に直結する部分なので、その辺を見直すような具体的施策が示されたら、市民の方の共感が高まるなと感じました。以上です。

I 委 員

最初に事務局の方にご提案ですが、話半分で聞いていただけたらと思います。

市民アンケートの回答率が50%を切る形になっていますし、若い世代になるほど回答率が低いので、これ見ると全部郵送による送付回収という形になっているんですが、僕らもそうですけど、そういうアンケートって面倒くさくてしないで済んじゃうので、例えば、みんな多くの方がスマホ持っているので、スマホ上でピピッとやれるようなものができたら、イベントで市が

ース出している時に寄ってくださった方に5分くらいやってくださいとか、献血で血を抜いてもらっている間にパパッとやってもらえるようなものができるともう少し若い世代の意見もアンケートに反映できるのかなと思って見ていました。もちろん、ちょっと年代の今治市の分布がこういう形であればしょうがないかもしれませんが、もし違うのであればそういうのも1つの手かなと思いました。

それから、さきほど会長の方が女性の意見が非常に重要とおっしゃっていましたが、実は今朝、家族でこの会議のことを話していますと、買い物する場所と教育について話が出ました。

日々の日用品、食品の買い出しも若干どこに行こうとかあまり近くにないとかという不満もあるみたいですが、それ以上に服を買いに行くとかそういうのがなかなか思うようにいかないようで、それを同じようなことを一緒に働いている20代の女性の人とかも言っていたのですが、そういうのを今治市に連れて来られたら、特にアンケートを見ていると市の中心商店街を活性化してほしいと取れる意見もありますし、やっぱり高校生も活気がないのではないかとありますから、シャッター街って活気がないように見えますよね。ああいうところに、具体的な名前をいうのははばかられますが、市外から買い物来てくれる形で再開発できたらいいのかなと個人的には思いました。

あと教育は、今、僕の実家とかそうなんですけれど、学区の縛りとかなくなってきた。今治市はかなりしっかりされているので、あの辺も無くしてみるのも1つの手なのかなと。そして、そうすると人気のある所、人気のない学区が出てくると思いますが、そうすると各学校、公立の小学校ですけど特色を持った運営をされたりするのかと思います。かなり起爆剤としては刺激のかもしれないですけども、そういう話も出ました。

あと、総合戦略の大学を核としたまちづくりということで、うちの大学も入れていただいていますけれど、色々できることはあるかと思っています。ただ、大学は不思議な所で教員が言ったら、なかなか動かないですね。よく動くのが、親御さんとか、まちの方からの意見があると非常に機敏に動いてくれます。大学関係で働いているので、大学はどこも私立であろうと国立であろうと同じような感じですから、ぜひ、どしどし大学の方に意見を言っていたら良いかなと思います。僕は専門が小動物の外科ですから臨床に携わっています。人間の医療と違い、大きなデータの集約がまだ獣医療ではできてなくて、その辺は結構ビジネスになるのではないかなと思っているので、そういうところで案があるとかそういう技術をお持ちの方があれば、ぜひ言っただけいたら、一緒に将来的にもビジネスになるようなお仕事ができるかなと思いました。以上です。

<p>J 委員</p>	<p>他の会でも話をさせてもらっているのですけれど、市長さんの話にもありましたように、ふるさと納税ですね、これをどのように利用していくかということで、国が設けた制度でありまして、今治市があえて広告をしなくても今治市に寄付をしてタオルをもらいたい人、柑橘をもらいたい人は、興味を持ってきているわけですね。そして、寄付してもらったら、その寄付金の証明書なり、ワンストップの証明書を送るために、郵送をすることができるんですよ。そして相手が必ず受け取ってくれる。という状況の中で、今どのような形で郵送されているか分からないのですけれども、私も仕事柄お客さん確定申告をする中で寄付金の証明書が封筒ごと入ってきて、ただ証明書が入っているところもありますし、パンフレットがいっぱい入ってきているところもあるんですね、今治市はどのような形でお送りしているのか分からないのですけれど、ここをうまく使っていくのも1つの手ではないかと感じています。寄付をしてくれる方はある一定の方。一定の方というのは、ある程度所得があって、納税をされている方。いわば、ある程度お金を持っている方ということになりますので、やみくもに配るというのではなくて、ある意味スポット的に広告を打つことができる。そして、今治に魅力を持ってくれたら、今治に観光に来てくれるかもしれないし、今治というところは、住むのもすごく良いところだよという広告をすれば、もしかしたら住んでくれる人がいるかもしれないし、そこのところをうまく使っていく必要があるのかなと個人的には思っています。そのためには、魅力的な返礼品をお返ししなければいけないという観点からいうと、産業界の方でも魅力的なタオル、柑橘類、その他、今治の特徴的な物を作っていかなければいけないと思いますので、作るために市としてどのように関わっていかなければならないか。JAさんとかも柑橘というところで協力してもらってもいいのかなと個人的には思っています。</p> <p>それと、今日お話を聞いていて、小学生に今治市の魅力を伝えるというところで、私は税理士という立場で法人会というところに所属しておりまして、今治市の小学生・中学生に租税教室ということで、税金の仕組みを教えるために行っているんですけれども、そういうことを今治市が、今治商工会議所の会員の方、あるいは、JAの方たちに素晴らしさを発信する場所を設けたらいいのではないかと感じました。せっかくですので、公会堂で今治市の小学生を一同に会して、商工会議所の会員の方やJAの方もお忙しいでしょうから、各学校に行くというのは難しいと思いますので、そこでみなさん集めて、そういう今治市の魅力というのを小学生に発信していくのも、1つの手かなと今日お聞きして感じました。以上です。</p>
<p>K 委員</p>	<p>私は、今治で生まれて今治で育って、非常に今治は住みよいまちだな、ここで景色見ても良いところだなとつくづく感じておりますけれども、私は、</p>

幼稚園のときに良い先生との出会いがありまして、この先生みたいになりたいと思って、幼稚園の先生になるために大学だけは出ました。またその先生と一緒に働きたいと思って帰ってきました。その先生と縁があって、一緒に働くことができました。人との出会いというのは非常に大切だなと感じております。

もう1つは、私は今治焼豚玉子飯世界普及委員会という団体のボランティアを10年前からやっています。10年間ずっと今治市のことをあっちこっち全国北海道から鹿児島まで行ってない県はないくらい行きました。その時に、今治市のことをすごいみなさん褒めてくれます。他県の方は、今治市って良い所よねと。タオルはあるし、しまなみは綺麗だし。活気のあるまちだねと言ってくれます。本当に活気があるかと帰ってきたら、静かな町で、都会から返ってきたら、静かだな、活気が無いなと感じてしまうところはあるんですけども、他県の方は、すごく今治市のことを褒めてくれます。私も、10年間今治市のことをずっと宣伝してきました。今も、その活動はずっとやっていて、土日はほとんど他県へ行っています。今週もまた明石へ行くんですけど、みなさん今治市ということを、昔は知らなかったんですけど、この頃は今治市っていうことをすごく覚えてくれています。良い町だなと言ってくれます。良い町と宣伝してきて、お城もいいよ、タオル美術館、大学もあるよ。色々宣伝していますが、観光にはたくさんの方々に来てくれるようになり、お城がいいよと言えばお城を見に来てくれるし、それから、次はどこに行ったらいいかと訪ねても来てくれたりして、色々な所に観光はしてくれるんですけども、果たしてそれが、住むまち、心地よい住んでくれるまちになるためには、これからどのようにすればいいのかと思って、参加させてもらっています。皆様の意見を聞かせていただいて、参考にして、また全国に行って、みなさんにちょっと今治おいでや、住んでみいやと。住んでくれる理由になればいいなと思っております。また、その活動を通して今治市を宣伝していけたらと思っております。以上です。

C 委 員

先程申しましたけれど、県外から今治に来て6年目を迎えようとしています。普段は教育機関の事務を務めながら、お休みの日はさいさいきてやに向いてみかんを買ったり、あとは、しまなみでサイクリングを楽しみながらとか、今治を楽しんで暮らしています。働く女性としての立場で、一言申しあげます。

私のように県外から来ているとやっぱり、職場と家庭の行き来だけ結構多くなってしまって、市の情報をどうやって手に入れるかということ、毎月の広報ですとか、そういうところに入るかなと今回振り返ってみました。このような資料をいただきましたので、そういった点が何個か立証化されたんですけど、働いている女性として不安に感じているのは、このまま働き続けら

れるかなといったところが関心が個人的には高いです。ですけど、このように今回の戦略体系図を拝見しまして、少子化対策の強化ですとか、女性が生き生きと輝くまちづくりとか、このような具体的な取り組みがなされているということを知ったので、今回は個人的には安心したかなと思いはあります。

こういった取り組みが、同じような同世代の働く女性に伝わればいいなと個人的には感じました。ですので、私のように、いざという時、市内に頼れる身内がないのは不安なことがありますので、そういう時は、こうすればいいとか、これから考えている人には、こういった支援があるよといったことが伝われば心強いのかな、そういうのがあれば今治に住み続けたいかなと個人的には非常に強く感じました。このような今回、今治が好きな市民の一人として、まちづくりに携われることができ、光栄に思っております。微力ではありますが、精いっぱい務めさせていただきますので、宜しくお願い致します。以上です。

L 委員

私は、バス会社の方から来ております。交通の方ですけれども、今日の市民アンケートの中で、見ますとあまりいいところが無いような気がして、それこそ目からうろこが落ちて、これを何とかしないといけないと、というあんないですが、全体的に見ますとやはり、人口減少が一番やっぱり堪えているのではないかと思います。

今、あまり多くは申し上げないんですけれども、別の会議で、今治市地域公共交通活性化協議会というのをやっております。

3月2日にも何回目かの会議をやっておりますので、その中で色々なことが出てくると思います。網計画を早く作成して、こういうような会議の中で申し上げたいと思っておりますので、できるだけ協力させていただきます。よろしくお願ひします。

M 委員

今日は1つお願いをしたいと思ひます。と申しますのは、少子化対策強化の具体的な施策として挙げられている病児保育事業についてのお願いです。

現在、運営している事業者さんは1つだけですが、こちら私の知り合いですので、現状を伺ってみました。運営されるようになって、今年3月でまる3年になるそうなんです、利用者さんは1年目が400件。2年目が700件。3年目が1,000件と実績を上げておられるにも関わらず、いまだに収益を上げるに至っていないというお話でした。病児保育事業の制度上、収益を上げるに至らない状況とのことですが、収益が上がるような事業制度でないと、継続していくのが難しいのではないかと思います。特に、総合戦略には、「新たに病児保育事業者を募集・選定し」という風には書いてあるんですが、新たな事業者を募集して選定するよりも、むしろ今運営している事業者さんの持

	<p>続的な運営が成り立つような制度にしていだければ、その方が効果的かなと思ひますので、ぜひ、その点をお願いしたいと思ひます。以上でございます。</p>
N 委員	<p>今治市の方には、漁礁の設置や稚魚の放流など魚を増やす事業、また漁協祭りなどの地産地消、魚食普及の事業に協力いただいております。ありがとうございます。</p> <p>取組としましては、漁協合併について、新聞で報道されています漁協合併の話を見せていただきます。愛媛県に、53 あります漁業協同組合のうち、43 漁協が、この 4 月 1 日に合併いたします。今治には、11 の漁協がありますが、11 全て合併し、愛媛県漁業協同組合となります。</p> <p>漁業を取り巻く環境ですが、この今治地区の漁業が、高級多魚種に恵まれ、小型漁船による漁業やブリ養殖が営まれております。</p> <p>しかし、食の欧米化による魚離れでの販売不振、船の燃料、紙やロープなどの漁業資材の価格高騰により、漁業者の生活は大変厳しい現状であり、後継者不足、高齢化現象が進んでおります。こうした状況を乗り切るための合併になります。合併を行い、組織力を強化することで、漁業者が永久的に安定した生活ができるように取り組んで参りますので、またご協力よろしくお願ひします。</p>
A 委員	<p>先程、事務局の方から市民アンケート、高校生アンケートの報告をいただきました。そのアンケート結果、十分吸収、分析していただいた中で、各分野に対する施策の方向へ反映させていただき、また具体的に取組をしていただく中で、例えば県下 20 市町ありますけれど、そこでの差別化を図るのが、私は重要だと思ひますので、実施しようとする制度改正、優遇措置等につきまして、市民への周知徹底を行っていただきまして、効率的で質の高い市政の実現をお願いしたらと思ひます。以上でございます。</p>
O 委員	<p>この戦略体系図を見せていただいたら、どれも重要なことで、この取組をさらに進めていけば、今治市もどんどん良くなっていくのではないかと思うのですが、今治市の魅力を再発見して、特に、今治市に住んでいる小中学生とか高校生とかに伝えて、高校生には就職する際には今治市内の企業へなるべく就職していただくとか、大学生には帰ってきてもらって、今治市の企業に就職してもらおうと。</p> <p>そういったことをしないと今、産業界でも人手不足といひますか、労働力人口の確保に苦勞していますので、そういった今治市から離れないような対策を何とか取れないかなと思ひております。そういった面では、教育が大事だと思ひますね。教育の中で、今治市の魅力や産業のことを伝えていく方</p>

法をとったら良いのかなと思います。

先程話に出ていましたけれど、西条がどうもこの近辺では非常に魅力があるようなアンケート結果が出ていると聞いたんですが、西条市にあって、今治市にないもの。それは色々あると思うんですけども、そういったものも検討しながら魅力ある今治市づくりを進めていったらいいのではないかと思います。以上でございます。

P 委員

福祉の分野で、市民アンケートを一番に見てみました。44、45 ページなんですけども、これで年代別とか世帯別で分析すると最後に気になったのが、地域別に分析されていて、やはり旧島しょ部での不満が他地域の不満を約10%くらい上回っておるということで、私どもも全市で事業を展開しておりますが、高齢者福祉分野が私どもの収入の7割ぐらいを占めますので、高齢者福祉を全市でやっておるんですけども、島しょ部では特に担い手という人が回らない、支え手がないということで、今でさえ、不満があるのが今後5年間の中で、特に看護職なんか回らないんですけども、かといって、今治市の方から通勤させる経費とか、本人の負担とかいとなかなか難しい。外国人とかいう発想も出てくるんですけども、そもそも都会との外国人競争で取れるのかということで、非常に不安に思っております。この福祉の分野を議論するにあたって、旧市内の部分についてはたくさんの方々があって、どのデイサービスにしよう、あのデイサービスにしようというふうな選択までできるわけですけども、例えば、大三島でしたら、私共のデイサービスしかございませんし、多分ヘルパーの会社も島しょ部では私どもの会社しかないか思っているが、そういう状況で今治の高齢福祉ということはどうするかというような時に、もう少し地域的な、地域に分けたような議論をしないと島しょ部の方が、より一層不満が増すのかなと思いました。

先の会で、1,000名割って、900名割って、800名に子どもがなったということで、衝撃だったのですが、多分地域別に振るともっと衝撃的な思っております。以上です。

瀬野会長

どうもありがとうございました。みなさまそれぞれ、各分野の方からたくさんのお意見をいただきましてありがとうございました。

私が小学校の頃には、社会の時に「今治の暮らし」という本がありまして、今治はタオルのまちですよ。例えば小学校4、5年位の時、大阪がタオルの町で東洋のマンチェスターとか言われていましたが、大阪問わず今治も、東洋のマンチェスター、日本のマンチェスターということ、小学校4年位の時「今治の暮らし」の中で教えてもらいました。そういうことから言うと、ああいう風なものが、授業の中であっていいのかなと。あれは、いつの間にか無くなりましたけれど、小学校の社会科の授業の中に入っていました

た。非常に今思っても良い授業だったなと思っています。

それと、M委員が言われていた病児保育に関してはやはりそうだと思います。私も医療界に属させていただいて、今、頑張っただけでやっていただきますけど、増やすよりもやはり、そこである程度持続的な運営が成り立つような方法を見つけていただかないと、2番目が来ないという話になりますので、そうだと思います。それは、先生1人で頑張ってもなかなか成り立たないところもあって、今治市全体で考えていかないといけないのかなと。

O委員が言われました就職。とにかく今治に帰って、今治に就職してもらおう。非常に大事なことだと思ひまして、できる限り今治に少し無理でも引っ張って帰るくらいのことをしないと。菅市長の前の前ですかね、繁信市長さんは、下水関係をやっていまして、今治も下水化するためにということで、当時の助役さんが今治へ引っ張って帰りましたけど、ああいう風なことを、帰れという風なことをしないといけないかなということがあります。

私も看護学校を医師会もやってますけども、とにかく人がいないというのが顕著にあるわけです。定員を充足するのが非常に困難という。やはり、松山から来る、宇和島から来る、そういうことがほとんどなくなりましたので、やはり、そのためには、今治の人が今治に残って、今治の人が今治の学校に就職する。そういう風なレベルの質を上げていかないともちろんなんですけれども、今治市の人が、市長がよく言われます、バリっ子というもので、今治は今治で、みたいなバリっ子をやらないとなかなかよそから入ってくるというのは難しい、そんな感じがいたしました。

これも企業等が色々な各種の業種が一丸となって、そういうことに取り組むことをしないと難しいことだろうと思います。差し当たって、私のところの看護学校にしても、みなさんの協力を得たいということで、今後どんどんお願いに上がらないといけないことになる。これは、各部門みなそうであると思います。中心でおります今治市の行政の中心でおります今治市が、そういう風なことも具体的なことでの解決を図っていくということで、努力をしていただくように、各担当分野にどうぞよろしく願います。

ということで、少し長くなりましたけれども、この次は具体的に進めていくようになるんですかね。今日は、全体的なお話ではありましたが、次からは具体的なお話を進めさせていただきたいと思います。この将来像に掲げておられます今治に住みたいまちあるいはずっと暮らしていきたいまち、あるいは今治に住んでよかったなと思えるようなまち。そういう風なものにするためにみなさんご協力よろしく願います。あと事務局の方からよろしく願います。

企 画 課 長

J委員の方からふるさと納税のご提案をいただきました件につきまして、説明させていただければと思います。こちらについては、先程から説明させ

ていただいています資料 6 の 41 ページに今回、関係人口ということ国が打ち出しています、今ご提案いただいた内容の部分について、掲載をさせていただきます。返礼品の 3 割という問題がありましたので、3 割に返礼品が達していない方には、今ちょっと手に持っていますけど、ふるさと今治への招待状という形で各観光施設への入館割引というようなチケットを送らせていただいています。ただ、ありがたい悲鳴ということで、非常にふるさと納税をしていただく方が増えてきてですね、当初はパンフレットをいっぱい入れていたんですけど、数が追いつかない。ちょっと悩ましいところがあります。ただ、そうは言ってもそういう機会を大切にしたいと思いますので、そういう意味で、41 ページに頑張りますと書いていますので、少しずつでも工夫をさせていただければなと思います。

病児保育の方についても、17 ページの方に確かに増やしますというところも目標に掲げてございますけれども、まずは利用者のニーズというところ。それから、西条のお話もありました。新居浜・西条に比べてこの病児保育所の開設、非常に遅い開設。そんな中頑張っていたという事実もございます。正直、無くなれば、また西条に比べて…というような話になるので、そこは十分私どもとしては、考えていかなければならないことだという風に認識しています。

それと、地域別の問題です。ここも我々としてもデータとしては、公表できるものにはなっていないですが、自分たちなりに分析できるものを持っています。今、P 委員の方からおっしゃっていただいたように、地域別の方色々な課題出て参ります。今後、色々な調整をすることも総合計画の役割のところになって参りますので、また、ご意見を色々頂戴しながら、整理できればという風に思っています。ただ、1 年で 2,000 人を超える方が減るとということが非常に大きな状況になってきたところの共通の認識をいただきながら、できる限りの調整をしたいと思っております。

あとは、会長の方も進め方の方にお頼りするんですけども、引き続き今日出た課題というのを認識しながら事務局としても調整をしていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。以上でございます。

瀬野会長

ありがとうございました。

何はともあれ、計画というのは作って本にして置いておくだけで、実現しなければ意味がありません。計画はきめ細やかに作っていますので、後は担当課の方にそれを持って行って、必ず実現する努力をしてもらわないといけない。実現しないのだったらしんどいだけなのでなくていい。そのことは必ずお願いをしたいと思っております。

今日は一般的な話でございましたが、次からはそれぞれの計画についての説明になろうかと思いますが、好き勝手に自由に意見を言っていただくとい

うことが一番いいことなので、何でもかまいませんので、言っていきましょう。

ということで、本日の予定は終了になりました。これもちまして、本日の会は修了いたします。本日はどうもありがとうございました。